

当院で肺・胸膜の生検・手術を受診している患者さんへ
当院で病理解剖を受けられた患者さんのご家族へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	LA-ICP-MS を用いたヒト病理組織の元素分布解析と職業性肺疾患新規診断法の開発
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	愛知医科大学病理学講座 講師 伊藤 秀明
研究の対象となる方	2005年11月から2025年11月までに肺や胸膜の生検や手術を受けられた患者さん・病理解剖となった患者さん
研究期間	研究実施承認日～2028年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的] 体内の様々な臓器における元素の分布を調べ、さらにそれを基に職業や環境により様々な物質にさらされて引き起こされる病気を早期診断できる技術を確立することを目標にしています。</p> <p>[利用方法] 既に診断が終わり、余った組織を分析し、それぞれの細胞にどのような元素がどのくらい沈着しているか調べます。また、アスベスト等肺に沈着した物質の検出を試みます。</p> <p>[外部への試料・情報の提供] 試料・情報は個人が特定できないようにし、東京大学理学研究科へ提供します。</p> <p>[外部への提供開始日] 研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：病理診断を終えた残余検体（ブロックを含む）を使用 情報：診療録（カルテ）から、年齢、性別、既往歴、職業歴（曝露歴）、血液検査結果等を使用
提供する試料・情報を用いる院外の研究責任者	東京大学理学研究科地殻化学実験施設 (研究責任者：平田岳史)
試料・情報を利用す	東京大学理学研究科地殻化学実験施設

る院外の者	(研究責任者：平田岳史) (株)サンライン (研究担当者：水津啓太)
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年3月31日までに メール送信 、 電話 により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 病理学講座 担当者：講師 伊藤秀明 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12261) ihide@aichi-med-u.ac.jp